

# ほっとにゅーす

このコーナーは、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。  
あなたが知っている旬の話題などがあれば、企画広報課 広報広聴グループ（☎65-6504）まで事前にお知らせください。

12/1 (木)



## YANAGIMAN来たる

音楽によるまちおこしをめざし、昨夏行われた合宿で収録した「タシカナミライ～LMC.長浜2011～」がネットで配信されるのを前に、プロデューサーYANAGIMANが市役所を訪れました。  
プロの音楽家の指導を受けた全国の中高生の歌声を聞いた市長は、これを市の地域活性化ソングとして活かしていくことを約束しました。

12/1 (木)



## 年末警戒出動式

犯罪や事故の多発が懸念される年末年始。取り締まりを強化し、まちの安全・安心を守る決意を新たにしようと警察署前で年末警戒出動式が行われました。  
長浜署には幼稚園児10人が警察官の制服姿で訪れ、おまわりさんの日頃の活躍への感謝を伝え、「これからもがんばってください。」とエールを送りました。

12/5 (月)



## 陶芸でイキイキ

陶芸を認知症予防に役立てようと滋賀県健康生きがいづくり協議会湖北支部が開いた教室には、お年寄りを中心に10人が参加しました。  
講師を務める「さざなみ陶友会」のメンバーの指導のもと、参加者はビール瓶に粘土を巻いてマグカップの形をつくり、思い思いの模様をつけました。  
陶友会によって窯で焼かれた完成品は後日参加者に届けられます。

12/10 (土)



## 子ども読書フェスティバル

湖国にゆかりのある絵本や児童文学の作家を紹介し、本に親んでもらおうと開催されたフェスティバル。会場には絵本原画の展示や、巨大な絵本が設置されたほか、作家によるトークショーも開催され、訪れた親子連れは絵本の世界を存分に楽しんでいました。

12/4 (日)



## 冬の王者 オオワシ飛来!

山本山（湖北町）に今年もオオワシが飛来しました。湖北野鳥センターによると、14シーズン連続で越冬のために飛来することになります。成熟したメスで、今年も湖北の空を威厳たつぷりに舞う姿が見られます。  
同センターでは1月15日（日）に「山本山のオオワシ観察会」が行われ、興味深いオオワシの生態や姿などを説明しながら観察します。

12/3 (土)  
4 (日)



◀ 博覧会関係の写真で作られたモザイクアート



▶ クロージングセレモニーでのごすだま割り

## 江・浅井三姉妹博覧会が閉幕しました

324日間にわたって行われた「江・浅井三姉妹博覧会」のフィナーレを飾る様々なイベントが、市内各地で行われました。期間中の来場者は、当初予想の3倍を超える118万人に達し、フィナーレイベントも、多くの人で賑わいました。



▲ 歴ドラ隊華舞台での最後のステージ

12/19 (月)



## 益梅展、開幕を控え準備着々と

開幕を1か月後に控え、推定樹齢400年を超える「不老」や、高さが3メートル近い「さざれ岩」など、展示される約90鉢の益梅の搬入作業が慶雲館で行われました。歴史・規模ともに日本一と親しまれ、61回目を迎える長浜益梅展で、可憐な梅の花を香りと共に楽しみたい。左の観覧割引券を使って、ぜひご来場ください。

## 子どもたちの学びの環境づくりのために...

先の高校再編計画の延期を受け、「長浜市内の県立高等学校のあり方」や「長浜市における教育と人材育成のあり方」を考える「長浜の未来を拓く教育検討委員会」を設置しました。

この委員会では、学識経験者や地域の関係者から広く意見を求め、検討・協議を行い、県教育委員会に提言していくことを目標としています。  
今年度中に委員会を5回程度開催し、議論する予定をしており、来年度も引き続き開催して行く予定です。  
12月21日に開催しました第1回会議の内容は次のとおりです。

◇ 正副委員長を選出されました。

- 委員長 大石 眞氏（京都大学法科大学院教授）
- 副委員長 大橋 松行氏（滋賀県立大学人間文化学部教授）

◇ 検討テーマとなる「今後の市民ニーズや地域課題に十分に答えられる高校のあり方」について協議されました。

また、提言については、平成24年度内を目途にまとめることとしつつ、議論の進行に合わせて、県教育委員会の動向も踏まえ最終的に判断することとされました。